

健診センター

■ スタッフ

センター長 竹田 寛
副センター長 小林 茂樹

スタッフ 保健師 1名
診療放射線技師 1名
事務職員 3名

■ 部門の特色

健診センターでは、次の3業務を中心に業務を行なっております。

- I. 任意型検診事業
- II. 対策型検診支援事業
- III. 特定非営利活動法人三重乳がん検診ネットワーク事務局としての管理運營業務

1. 任意型検診事業

1) PET-CT 健診

2005年秋の開始以来、のべ1300名以上の方に受診いただいている、当健診センターの軸となる健診です。膵臓がん、甲状腺がんなどの悪性腫瘍や前がん病変が見つかっており、また、がん以外にも様々な疾患が多数発見され、当院において加療されています。

2) 乳がん検診

最新のデータでは日本人女性の15人に1人が乳がんにかかると言われていています。当センターの乳がん検診は、乳腺診療に携わっている画像診断医と、乳腺外科医が緊密な連携をとりながら、結果判定を行なっています。

3) 胃の健診

胃がんは日本人をはじめとするアジア人に多く、日本人男性においては現在でも最も多く罹患するがんとなっています。また、胃がんに限らず、胃腸の病気は大変身近な病気と言えます。

当センターでは、採血のみで胃がんのなりやすさを調べる「胃がんリスク検診」と、カメラで胃内を直接観察する「上部消化管内視鏡検査」を行なっています。また、Option検査として、高度先進医療である「ヘリコバクター・ピロリ菌遺伝子検査」も行なっています。

4) その他の健診

肺CT検診、前立腺がん検診、子宮がん検診、眼科検診、血液検査、骨塩定量検査などを行なっています。

2. 対策型検診支援事業

平成24年度から、三重大学医学部附属病院が受託機関となり、健診センターがその業務を担っています。現在三重県及び名張市より事業委託を受け、精度管理調査、実態調査、啓発講演など様々な業務を行なっています。

1) がん検診受診推進・精度管理事業

三重県からの委託を受け、以下の7項目の事業について、実施、検討を行なっています。

- ① がん検診精度管理調査の実施
- ② がん検診の精度管理向上に向けた検討会の開催
- ③ 地域がん登録から得られたがんのデータを活用したがん検診に係る啓発の検討
- ④ がん検診精度管理の向上に関する市町への支援
- ⑤ がん検診受診促進のための県民への啓発活動の実施
- ⑥ がん検診受診率向上に関する市町への支援
- ⑦ 関係機関との連絡調整

2) 生活習慣病予防重点プロジェクト がん検診受診率向上事業

名張市から委託を受け、以下の5項目の事業について実施、検討を行なっています。

- ① 啓発講演会・医療相談
- ② 検診の受け皿整備
- ③ 検診体制強化のための指導・助言
- ④ 保健師スキルアップ
- ⑤ クーポン事業実態調査

3. 三重乳がん検診ネットワーク

平成24年度より、当事務局を健診センター内に移転し、健診センター業務の一環と致しました。ネットワーク登録事業を中心に、実態調査支援、体験イベントの実施、普及啓発活動、ピンクリボン運動支援活動などを行なっています。

1) 登録カード発行

登録者の推移は下図のとおりで、平成17年10月登録開始から平成24年4月末現在で、114,959人と

なりました。

現在26の医療施設において検診結果の登録が行われています。



2) 日本乳癌検診学会主導 乳がん検診実態調査支援業務

日本乳癌検診学会主導の全国乳がん検診実態調査が平成23年よりはじまりました。三重県県内の乳がん検診実施施設すべてのデータを集計し、日本乳がん検診学会へ一括して報告を行っています。

3) ワンコイン乳がん（マンモグラフィ）検診体験イベント

16のネットワーク加入機関協力のもと、マンモグラフィ未体験または2年以上乳がん検診を受けられていない40歳以上の女性を対象に実施致しました。174名にご受診いただき、98.4%の方にイベントに参加してよかったとの感想をいただきました。

4) 伊賀FCくノーとの協定締結

NPO法人伊賀FCくノーの全面協力による、乳がん検診啓発活動に係る締結をいたしました。

NPO法人伊賀FCくノーとは、1976年に創部された三重県伊賀市を本拠地とした女子サッカークラブです。

ホームゲーム会場での啓発活動、講演会やトークショーの実施など、伊賀地区の随所で啓発活動を行っていただきました。

5) その他の活動

- ・市町提携啓発活動（津まつりや四日市講演会における乳がん検診啓発ブース出展）
- ・ピンクリボン運動支援自販機設置推進事業
- ・乳がん検診普及啓発講演及びがん検診向上WGの開催

■ 健診実績

2012年度の健診実績を下表に示します。

がん検診の中で受診者が多いPET-CT健診と乳がん検診における発見がんは、PET-CT健診では腎癌、肺癌、大腸癌の計3名、乳がん検診では非浸潤癌1名、浸潤癌2名の計3名でした。

PET-CT健診の要精密検査者はがん疑いのみでなく、良性疾患を含む多種の領域にわたっています。がんだけでなく、生活習慣病や慢性疾患など、全身を一度にチェックできる健診として優れた検査であると考えられます。

検診項目	受診者数	発見がん数	要精密検査数	三重大病院紹介者数
PET-CT健診	155	3	45	42
肺CT検診	7	0	0	0
前立腺がん検診	8	0	2	2
乳がん検診	281	3	21	21
子宮がん検診	8	0	0	0
上部消化管内視鏡検査	8	0	1	1
胃がんリスク検診	20	-	9	7
血液検査	3	-	0	0
眼科検診	2	-	0	0
骨塩定量検査	2	-	0	0
合計	494	6	74	71

■ 今後の展望

当健診センターは、様々な健診を通じて、予防できる病気は未然に防ぎ、予防困難な病気は早期発見し、完全に治療することを目標としています。

今後もPET-CT健診や遺伝子検査など大学病院ならではの特色を活かした、総合的な質の高い検診を行い、受診された方だけでなく、地域の方々の健康に貢献できるよう取り組んで参ります。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/kenshin/>